

海津市地域福祉活動計画

かいづ あいづらん

平成20年度 ➡ 平成24年度

海津市地域福祉活動計画策定委員会

社会福祉法人海津市社会福祉協議会

海津市地域福祉活動計画の策定にあたって

「ふだんのくらしをしあわせに」を市民の皆様と共に考えるとの命題に取り組むべく、「海津市地域福祉活動計画」の策定にあたって参りましたが、幸い230人の策定委員（地区策定委員を含め）の方々を始め、多くの市民の皆様のご協力を得て、ここに「あいプラン」として大きな成果を見るに至りました。

皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

このプランの特徴は、いわば、市民の皆様の手づくりだけに、暮らしに密着した「願い」を反映していることと、自らの意を注いで、所謂、「自助」「共助」に軸足を置いた活動に取り組む姿勢を強く示しているところであります。そのために、「福祉」の概念が広義に捉えられて、「福祉＝くらし」との感覚に立っているとも言えます。

このことが、これからの、まちづくりの原動力となれば計画の意義は極めて大きいと言えます。

しかし、その成果は市民の皆様の手になんて委ねられております。どうか、今後の計画推進に一層のご協力を切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご指導いただきました、中部学院大学の阪野貢教授に深甚なる感謝を申し上げます。

平成20年 3 月

社会福祉法人海津市社会福祉協議会
会 長 勅 使 川 原 文 生

海津市地域福祉活動計画の策定にあたって

海津に住む全ての人々がしあわせに暮らせる地域社会を、住民自身の手で創りあげていくための活動を、具体的に進めていくための指針となる「かいづ あいプラン」がここに完成しました。

この計画の第1の特徴は、市内10小学校区をひとつの単位と考え、そこに住む住民が地区策定委員会を立ち上げ、その地区策定委員が中心となり地域の現況や課題を検討し、地域に何が足りないか、何が求められているのかという視点で分析した点にあります。

第2は、その分析した結果を住民、社協そして行政という役割分担を明確にした点にあります。地域福祉の向上を、誰が、どのように、いつまでにやるのかを具体的に示しています。ここにとりあげられている課題は、住民や社協、行政の協働と実践行動なくしては解決できないものばかりといえます。

この計画が完成いたしましたのも、お忙しい中地域福祉の向上を第一に考えて知恵を振り絞っていただいた地区策定委員、市策定委員の皆様、そして社会福祉協議会の会長をはじめ職員のご尽力の賜物であります。心より感謝申し上げます。今後はこの「かいづ あいプラン」を住民一人一人に浸透させ、海津の「あい」を語らい実行する人々に出会う機会が増えていくことを心より祈念します。そして、より発展し続ける計画になることを。

平成20年3月

海津市地域福祉活動計画策定委員会
委員長 永 松 洸

目 次

第 1 部 計画の概要

1	海津市地域福祉活動計画とは	3
1	計画の目的 /3	
2	地域福祉計画（行政計画）と地域福祉活動計画（社協計画）の関係 /3	
3	計画の期間と見直し /4	
4	計画の愛称—あいプラン /5	
5	計画の構成 /5	
2	計画策定の体制と経過	6
1	計画策定の方法 /6	
2	地区策定委員会の開催状況 /6	
3	地区委員会連絡会・策定委員会の開催状況 /9	
4	研修会等の開催状況 /10	
3	計画の理念と目標	12
1	計画の理念 /12	
2	計画の目標 /13	
3	計画の体系 /14	

第 2 部 計画の展開（市域計画）

1	支えあいを大切にする組織づくり	17
1	地区社協の創設 /17	
2	自治会活動との連携強化 /17	
3	地域組織・団体のネットワークの形成 /18	
4	災害時の支援体制づくり /18	
5	医療体制の充実 /18	

2 安心して暮らせる地域づくり ————— 20

- 1 地域福祉懇談会の開催 /20
- 2 地域の見守り・交流活動の推進 /20
- 3 ボランティア・市民活動の推進 /20
- 4 総合相談活動の充実 /20
- 5 あいさつ運動の実施 /20

3 美しく住みやすい環境づくり ————— 23

- 1 公共交通機関の整備と利用の促進 /23
- 2 環境美化活動の推進 /23
- 3 マナー向上策の展開 /23

4 心豊かにふれあう人づくり ————— 25

- 1 ボランティア・市民活動者の育成 /25
- 2 福祉教育の充実 /25
- 3 住民自治意識の向上 /25
- 4 福祉情報の提供と共有化 /25
- 5 生涯学習活動の推進 /25

5 計画の推進 ————— 27

- 1 推進体制の整備 /27
- 2 関係機関・組織・団体との協働 /28

6 策定委員会から行政への提言 ————— 29

- 1 公共施設の地域活動拠点化に向けての検討 /29
- 2 市営バス（巡回バス・広域バス）をニーズに即した運行に /29
- 3 通学路の安全確保を /30
- 4 街路灯の設置促進について /30
- 5 救急時の医療に対応する医療機関のネットワークづくり /30
- 6 自主防災組織への支援 /30
- 7 災害時の確実な情報伝達 /31

第 3 部 地区別計画

1 高須地区 35

- 1 計画の重点課題 /35
- 2 高須地区の人口 /35
- 3 高須地区の社会資源 /35
- 4 海津市地域福祉活動計画高須地区活動計画 /36
- 5 地区の課題 /40

2 吉里地区 41

- 1 計画の重点課題 /41
- 2 吉里地区の人口 /41
- 3 吉里地区の社会資源 /41
- 4 吉里地区福祉活動計画 /42
- 5 「声かけ」「見守り」活動の支援基準と運営 /44
- 6 吉里地区福祉活動協議会の中期計画 /46
- 7 吉里地区福祉活動拠点の活動 /47
- 8 吉里地区の活動 /48

3 東江地区 49

- 1 計画の重点課題 /49
- 2 東江地区の人口 /49
- 3 東江地区の社会資源 /49
- 4 重点課題・解決方法まとめ /50
- 5 地区の課題 /52

4 大江地区 53

- 1 計画の重点課題 /53
- 2 大江地区の人口 /53
- 3 大江地区の社会資源 /53
- 4 コミュニティづくりの拡充 /54
- 5 地区の課題 /56

5 西江地区 57

- 1 計画の重点課題 /57
- 2 西江地区の人口 /57
- 3 西江地区の社会資源 /57
- 4 課題・解決まとめ /58
- 5 地区の課題 /60

6 今尾地区 61

- 1 計画の重点課題 /61
- 2 今尾地区の人口 /61
- 3 今尾地区の社会資源 /61
- 4 今尾地区福祉活動計画 /62
- 5 地区の課題 /64

7 海西地区 65

- 1 計画の重点課題 /65
- 2 海西地区の人口 /65
- 3 海西地区の社会資源 /65
- 4 海西地区活動計画 /66
- 5 地区の課題 /68

8 下多度地区 69

- 1 計画の重点課題 /69
- 2 下多度地区の人口 /69
- 3 下多度地区の社会資源 /69
- 4 課題・解決のまとめ /70
- 5 地区の課題 /76

9 城山地区 77

- 1 計画の重点課題 /77
- 2 城山地区の人口 /77
- 3 城山地区の社会資源 /77
- 4 課題・解決のまとめ /78
- 5 地区の課題 /84

10

石津地区

85

- 1 計画の重点課題 /85
- 2 石津地区の人口 /85
- 3 石津地区の社会資源 /85
- 4 石津地区地域福祉活動計画 /86
- 5 地区の課題 /90

資 料

- 1 海津市地域福祉活動計画 策定委員 /93
- 2 地区策定委員 /94
- 3 海津市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱 /99